



原っ子つうしん

教育目標：～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

令和4年

6月8日（水）

印西市立原小学校

校長室便り

〈第3号〉

あいのままのあなたで ～ぞうさんの歌より～

先週の全校集会で、私は「♪ぞうさん、ぞうさん、お鼻が長いよね、そうよ、母さんも長いよ♪」と歌った後、以下のように子どもたちに、まどみちおさんが作詞した「ぞうさん」の歌の話をしました。

「子象が友だちから『お前の鼻は長い』と言われて、落ち込んで家に帰ります。そして、お母さん象にそのことを話します。すると、お母さん象は、「お母さんも、お鼻が長いよ。象の鼻が長いのは、象の個性なの。生き物は、みんなそれぞれに個性をもっているの。個性は、みんな違うからいいの。だから、そんなことで落ち込まないで、明日からまた元気にお友だちと遊んでね。」と話しました。大好きなお母さん象から、そう教えてもらった子象は、友だちに「そうよ、母さんも長いよ。」と答えたとのことでした。象のお母さんが言っているように、私たちも、お互いの個性を認め合わなければならないと思います。例えば、話し方が違って、考え方が違って、雰囲気違って、それは、全てその人の個性です。個性というのは、みんなそれぞれ違うからいいのです。他の人から「みんなと違う」という理由で、何か言われるものではないのです。本当に大切なことは、「あなたはあなたのままでいいんだよ。」「ありのままのあなたが好きなんだよ。」と言い合える関係をつくることだと思います。

子どもが1,000人いれば、個性も同じ数だけあります。これからも一人一人の個性を大切にしながら、誰もが必ず持っている良いところ（長所）を発見し、さらに伸ばせるよう、原小学校全職員で日々支援・指導していきたいと思ひます。

<ちょっと一言>

子どもにとって一番安心できる人・場所は、その子によって違うことでしょう。しかし、やはり一番は「家族」・「家庭」になるのではないかと思います。それは、家族と家庭は、良いことも、そうでないことも、ありのままの自分を受け入れてくれるからです。わがまま、愚痴、悩みなどが言える人であり、場所であるからです。居心地のよい家庭・家族に見守られている子どもたちであってほしいと思ひます。

郡陸上競技大会 原っ子大活躍！

先日4日（水）中台運動公園陸上競技場において、印旛地区小学校陸上競技大会が開催されました。

三部会小学校陸上競技大会を勝ち抜き、代表となって参加した選手たち。思う存分力を発揮してくれました。精一杯頑張ったこの経験は、今後の学校生活で必ず生きてくると思ひます。

結果一覧

6年女子 走り幅跳び 4位入賞
6年男子 走り幅跳び 4位入賞